

# 関節リウマチの手術療法

やまなし

医療最前線

県立中央病院から

《 65 》

近年は炎症や関節の破壊を強く抑える生物学的製剤の登場で、薬物療法だけで症状をコントロールできるケースが増えているが、一部の関節に痛みが残ることも多いという。病気が進行して関節が変形してしまつた場合や、合併症や金銭面で生物学的製剤を使用できない場合も手術が必要になってくる。

手術の方法は関節の部位によって異なり、肩・肘・膝・股関節には主に、破壊された関節を切り取って人工関節に置き換える「人工関節置換術」を行う。痛みを取り、関節の可動域を広げるとともに変形を矯正できるメソッドがある。一方、手首や手指、足首の関節は「関節固定術」で動かない

ようにすることで力が入り、物をつまんだり、歩いたりできるようになる。

佐久間医師は「治療の目標は、あくまで薬物療法で症状がほぼない状態の寛解を目指すこと」と強調。ただ薬物ではコントロールできない場合、QOL向上に手術が大きな力を発揮する。手術の必要性やタイミングを見極めるには、整形外科のリウマチ専門医に関節の状態を評価してもらうことが重要だ。

関節リウマチの治療は薬物療法が基本だが、それでも痛みが続き日常生活に支障をきたす場合、“救いの道”となるのが手術療法だ。県立中央病院は2年前から整形外科にリウマチ外来を開設し、「痛みを取り除き、QOL（生活の質）を上げたい」という患者のニーズに答えている。

関節リウマチは手足の関節が腫れ、放っておくと関節が変形してしまつ病氣。整形外科医長で日本リウマチ学会専門医・指導医の佐久間陸友医師によると、治療は薬物療法、リハビリテーション、手術、ケアの4本柱によるトータルマネジメントが重要だ。

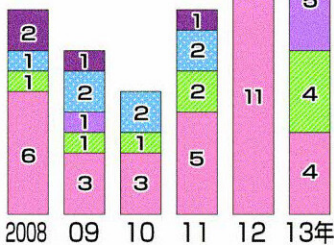
## 痛み取り生活の質上げる



佐久間 陸友  
整形外科医長

県立中央病院における  
主な関節リウマチ手術  
の件数 (件)

- 手関節・手指手術
- 足部手術
- 足関節固定術
- 人工股関節置換術
- 人工膝関節置換術



佐久間医師は「炎症や痛みがなくても関節の破壊が進行している可能性もある」と指摘。少なくとも年1回はエックス線検査を受けるよう勧めている。

第2、4木曜日に掲載  
します